



小 / 算数 / 3年 / 数量関係

15. を使った式 / 理解シート

わり算の式で、<sup>しき</sup> を使った式の<sup>つか</sup> 表し方<sup>あらわ</sup>を教えて



ことばの式に、□やわかっている数をあてはめればいいんだよ。□には、いろいろな数があてはまるんだよ。

1

この数で、□を使ったわり算の式をつくってみます。

12このあめを何人かで同じ数ずつ分けたら、1人分が3こになりました。分けた人数を□人として式にかきなさい。

◆下のことばの式に、□・12・3をあてはめて、□を使った式にします。

$$\begin{array}{ccccccc} \text{(ぜんぶの数)} & \div & \text{(分けた人数)} & = & \text{(1人分の数)} \\ \downarrow & & \downarrow & & \downarrow \\ 12 & \div & \square & = & 3 \end{array}$$

2

この数で、□を使ったわり算の式をつくってみます。

あめが何こかあります。これを4人で同じ数ずつ分けたら、ちょうど6こになりました。あめは、はじめ何こありましたか。はじめの数を□ことして、式にかきなさい。

◆下のことばの式に、□・4・6をあてはめて、□を使った式にします。

$$\begin{array}{ccccccc} \text{(はじめの数)} & \div & \text{(分けた人数)} & = & \text{(1人分の数)} \\ \downarrow & & \downarrow & & \downarrow \\ \square & \div & 4 & = & 6 \end{array}$$